

烏山地区
ミニコミ紙
第115号
令和6年9月2日



ふれあい

バックナンバーは区のホームページ
でご覧いただけます。
← こちらのQRコードからどうぞ！

発行/烏山地区ミニコミ紙編集委員会
事務局/烏山まちづくりセンター Tel.3300-5420

『在宅避難』のススメ～誰でもできる日頃の備え～

今年は1月1日に能登半島で震度7を観測する地震が発生しました。大変と思い、我が家の防災用品を確かめたところ、押入れの奥の方にはありました。中身は冬物か夏物か分からないような中途半端な物が出て来てしまいました。

こんな事で良いのかと思いつつ、月日が過ぎて行くと、また押入れの奥の方へ防災用品が押しやられて行く状態です。

日本列島にくらす人々には、自然災害とは常になり合わせです。

今後、30年以内に70%の確率で発生すると予測されている首都直下地震が懸念されます。昔はすぐ避難所へと言われていた時もありましたが、避難所は自宅で過ごす事が出来ない状態の時などしか入れません。人数が多すぎなのです。今は「在宅避難」を進めています。

災害が起きたら、避難所で暮らすしかないと思いませんか。でも避難所で暮らすことは選択肢のひとつに過ぎません。

避難所では、見知らぬ人と過ごすことになりプライバシーを守る事が難しくなります。

自宅が無事なら、そのまま自宅で生活を送る「在宅避難」という方法もあります。

今、各地で防災訓練が行われています。

自分の命を守るために、参加しましょう。

どんな事でも、身につけておくと、いざという時その知識が生きてきます。

誰かが助けてくれるという考えは、いけません。あとあとは助けてくれるでしょうが、いざという時は、自分の命は自分で守る、それが出来たら、次に他の人を助けられます。

今来るかも分からない、明日来るかも分からないですが、準備だけはしておきましょう。

例えば、災害が起きた時のために小銭を用意しておきましょう。

電気が使えなくなるとアナログでちょっとしたお買物もしなければならなくなる、大きなお札ではおつりが出なくなります。そのために100円、500円を用意しておきましょう。あと1000円札も何枚か用意しておくで安心でしょう。

今はデジタルでキャッシュレスが多くなっていますが災害のときは使えません。

消防署の講習では、500円玉で5万円、1000円で3万円、5000円で2万、合計で10万円用意して置くと安心だと教わりました。

10万円用意しろと言うのではなく、いつなにがあってもいいように小銭は用意しておきましょう。

ぜひ考えて
みてください！



烏山地域キャラクター「からびょん」

せたがや防災ギフトについて

世田谷区では、5月1日時点で住民登録のある方を対象に、8月から防災カタログギフトを配付しています。これは1人あたり3000円相当のポイントが付与され、そのポイントで在宅避難のための防災用品を選ぶことができます。

申し込みは、11月30日まで、ホームページか同封のハガキで行えるので、ぜひご検討ください！
＜問い合わせ＞

電話：0120-952-200

(平日 8時30分～18時、土日祝 9時～17時)

メール：setagaya-bousai@smart-gift.net

おみこしの担ぎ手募集中！

地域のお祭りでお神輿を担いでみませんか？

今年も烏山神社と給田六所神社で例祭が開催されます。

例祭とは、神社において、例年もしくは決まった年の決まった日に行うお祭りのことで、年間の祭祀の中でも、もっとも重要なお祭りということで、「例大祭」とも呼ばれています。

9月と10月にそれぞれの神社でお神輿が巡る「巡行」があります。

お神輿の担ぎ手を募集中とのことなので、ぜひこの機会にお神輿を担いでみませんか？



各町会の日時とお神輿のルート一覧

※時間やルート等は取材当時の予定ですのでご了承ください

烏山上宿

9月23日：烏山神社出発→旧甲州街道→りんれい公園→烏山区民センター前→西沢つつじ園→
旧甲州街道→南口商店街→烏山区民センター前（11時30分出発～19時30分到着）

9月24日：烏山区民センター出発→旧甲州街道→農協→メール街→六番街→千歳烏山駅→
烏山区民センター前（15時出発～19時30分到着）

烏山中宿

9月23日：烏山神社出発→旧甲州街道→りんれい公園→烏山区民センター前→J A東京中央→
寺町通り→松葉通り→旧甲州街道→りんれい公園（11時30分出発～18時到着）

9月24日：りんれい公園出発→旧甲州街道→南烏山2丁目・5丁目周辺→烏山神社→商店街南口→
商店街北口→旧甲州街道→りんれい公園（14時出発～18時到着）

烏山下宿

9月23日：烏山神社出発→旧甲州街道→千歳通り→南烏山1丁目周辺→千歳通り→旧甲州街道（往復）→
芦花公園駅前ロータリー→烏山下宿広場（11時30分出発～18時10分到着）

9月24日：芦花公園駅前ロータリー出発→旧甲州街道→甲州街道→烏山公園→成瀬医院→甲州街道→
旧甲州街道→芦花公園駅前ロータリー（13時出発～18時15分到着）

給田

10月26日、27日ともに給田地区内を巡行することです。

詳細につきましては、内容が決まり次第、お祭り前にポスターを給田町内に掲示するそうです。

神社所在地

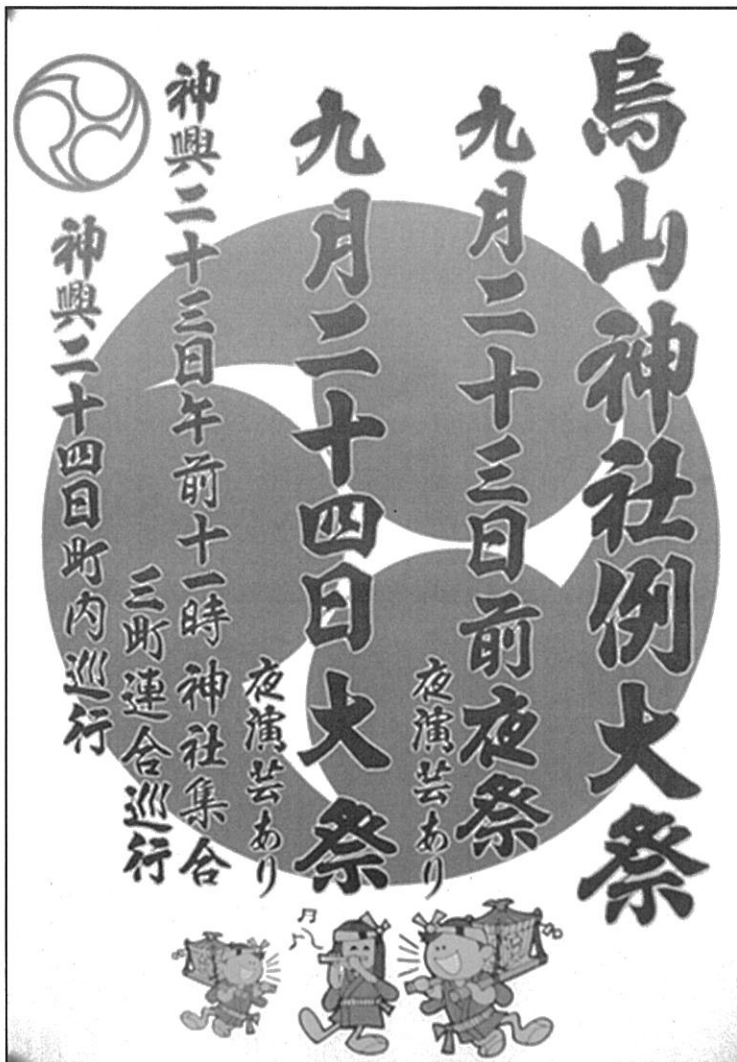
給田六所神社
(給田1-3-7)

千歳烏山駅から
徒歩12分



烏山神社(南烏山2-8-1) 千歳烏山駅から徒歩6分





烏山神社例大祭

九月二十三日午前夜祭
夜演芸あり

九月二十四日大祭
夜演芸あり

神輿二十三日午前十一時神社集合
三町連合巡行

神輿二十四日町内巡行

烏山神社

烏山神社は境内に掲示されている資料によると、江戸時代にはすでにこの地にあったとされており、明治時代にはこの地域の村社となり、白山御嶽神社という名前であったものを今から 62 年前の昭和 37 年に烏山神社に改称しています。今年も 9 月 23 日、24 日に神輿が町内を巡行いたします。

烏山神社の神輿は西から上町、中町、下町の 3 つがあり、初日は途中まで 3 つの神輿が連なって進みます。その後、上、中、下、の各地域に分かれ、それぞれの地域を巡行します。上町の巡行は隣の給田六所神社から大太鼓が参加し、盛り上がります。また、年始の際は、各地域の神輿の担ぎ手が地域の皆様の初詣に合わせ、甘酒の提供や交通整理などのお手伝いもしております。

給田六所神社

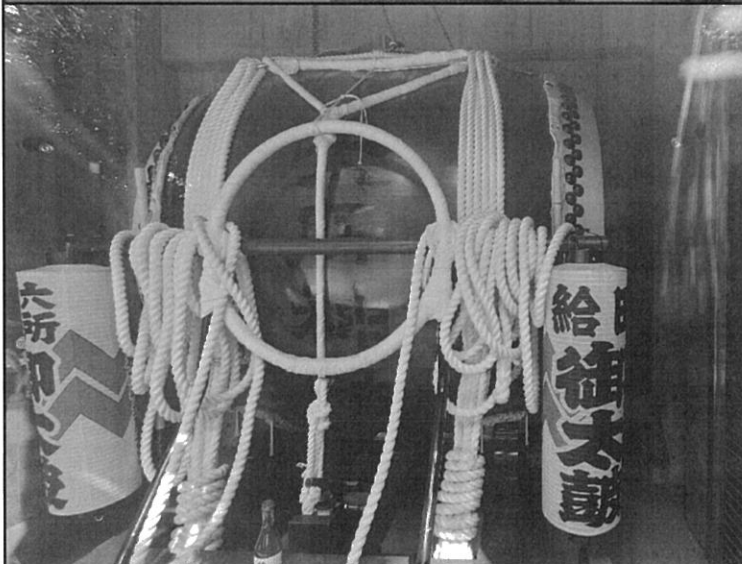
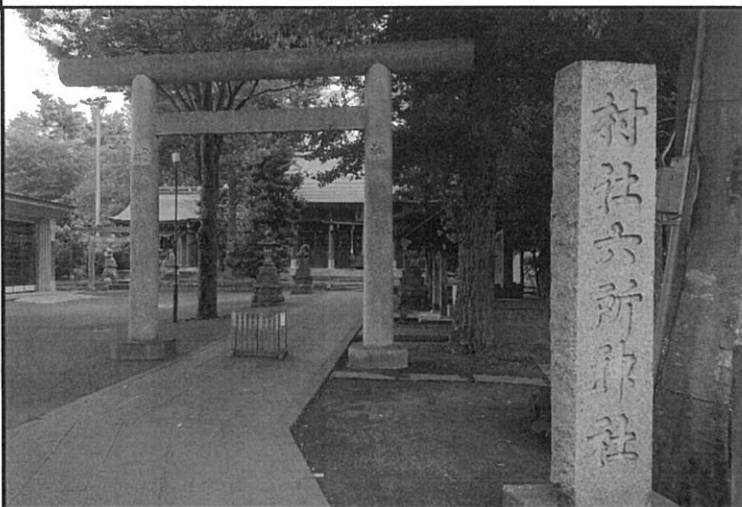
烏山小学校のすぐ近くにある給田六所神社。境内に掲示されている資料によると、天文年間に現在の大國魂神社（旧名：府中六所宮）から御霊を分けて作られたものだと言われています。現在の社殿は平成 3 年に建て替えられたものです。境内には大太鼓の納められている太鼓小屋があり、いつでも地域の皆様にご見学頂けるよう透明シャッターに改修されました。

今年 9 月 1 日は新しいお神輿がお披露目され、今年から御神輿も巡行します。担ぎ手の集まりである祭礼会も今年発足。今年は 10 月 26 日、27 日です。

給田在住もしくは在勤の方で、御神輿の巡行をお手伝いしたいという方がいましたら、お祭り当日に給田祭礼会の半てんを着ている者にお声がけくださいとのことです。

以下のとおり事前の相談日もあるそうです。

- お祭り巡行のお手伝い相談日（お神輿担ぎ手含む）
- 10 月 14 日（月）午前 10 時～午後 2 時 30 分
- 場所：烏山小学校校庭 ※給田町会大運動会開催中
- 10 月 19 日（土）午前 9 時～午前 11 時
- 場所：六所神社境内 ※お祭り準備中
- いずれの相談日も天候により中止となる場合があるそうです。



烏山歴史探訪 ～烏山は間宿（あいのしゅく）～

烏山は今も3地区に分かれています。甲州街道で京都に近い方から上宿、中宿、下宿と呼ばれています。宿という字が使われていますが、甲州街道の正式な宿場町ではありません。この近辺では、高井戸宿と布田五宿があり、烏山はその間にあります。昭和56年に世田谷区民俗調査団が編集し、世田谷区教育委員会が発行した「烏山 甲州街道間の宿の民俗」という資料によると、甲州街道の高井戸宿（上高井戸、下高井戸）と布田五宿（国領、下布田、上布田、下石原、上石原）の間の距離が長かったことから、間に宿泊はできないが休憩ができる場所として「間宿（あいのしゅく）」として準宿場的な役割を果たしていた場所であったようです。お茶を飲んだり、軽い食事をしたりできる、また、お酒も飲める店もあったようです。豊倉屋という店があり、広い敷地の中に水を引いて数千匹の鮎を放流し、店に立ち寄った人たちを楽しませていたという記録もあります。そしてそこで出される食事はとても美味しく、大変人気の店であったようです。



烏山地区の小さな公園

烏山地域には東京都が管轄する芦花公園と祖師谷公園があります。そして、皆さんのご近所にも小規模な公園がたくさんあります。

世田谷区烏山公園管理事務所の管轄では97の公園や緑地があります。詳細は世田谷区のホームページに掲載されています。実は公園にも様々な種類があり、ポケット公園、街区公園、基幹公園などです。また、身近な広場に分類されている場所もあります。

世田谷区公表の資料に目を通すと、その公園がいつできたのか、どんな設備があるのか、たとえば砂場があるであるとか鉄棒がある、水道がある、トイレがあるなどの情報が一目でわかるようになっています。

その後明治になり、記録によると烏山村には173軒の家があったそうですが、その後もしばらくはこの状態が続いていたようです。明治37年、甲州街道の北側に甲武鉄道（今の中央線）が開通し、荻窪方面は少しずつ栄えていきました。烏山は少し取り残された感じになりましたが、大正2年に京王線がほぼ現在の位置に開通し、都心との交通の便も次第によくなってゆきました。

今では当時の面影は見るのが難しいのですが、昭和10年ごろには時代の最先端とも言えるカフェが数軒できたそうです。のんき屋、武蔵軒、松葉、線路沿いには梅月、宝屋と合計5軒もできており、隣の布田五宿に六軒あったということですからそれに負けない勢いが烏山にあったのです。

今の烏山の賑わいは、こういった間宿というベースがあったからこそのものだ、ということがよくわかります。



初回は北烏山ほととぎす公園をご紹介します。この公園は昭和54年3月末に開園しました。北烏山7丁目にあるこの公園は岩崎学生寮の近くにあり、広さはおよそ230平方メートル。比較的小さめの細長い公園です。健康遊具や水飲み場、砂場が設置されています。植栽帯は見事に緑が生い茂り、管理も行き届いています。ベンチも複数あり、天気の良い時などはお散歩の休憩ポイントとして地元の方々に利用されています。

これからこのページはシリーズで烏山地域の小さな公園についてご紹介していきたいと思います。